

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/09/20号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

需要不安と供給不安の交錯続く

NY原油先物相場は、1バレル=84.27~90.19ドルのレンジで揉み合う展開になった。欧州エネルギー市場の混乱が続く中、一時90ドルの節目を突破している。しかし、需要不安も維持されていることで戻り売り圧力も強く、週末にかけては85ドル水準まで軟化している。結果的に最近のボックス相場が踏襲されている。ドル高・株安圧力に関しては、あまり材料視されなかった。

欧州では、天然ガス価格上限設定を巡る議論が活発化している。ガス価格、電力料金の高騰が深刻化する中、天然ガス価格の上昇を止めると同時に、天然ガス価格と電力料金を切り離すための議論が行われている。ただ、こうした動きはロシアからの供給不安を高めることになる。また、国際エネルギー機関（IEA）は9月14日発表の月報で、世界石油需要見通しを前月から日量11万バレル引き下げる一方、天然ガスからの需要シフトの動きが強まるとの見通しも示している。マーケットでは、ポジティブな報告内容と評価された。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（9月9日時点）は、原油が前週比244万バレル増、ガソリンが177万バレル減、石油精製品が422万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

強弱材料の交錯が続く、高ボラティリティだがボックス傾向か

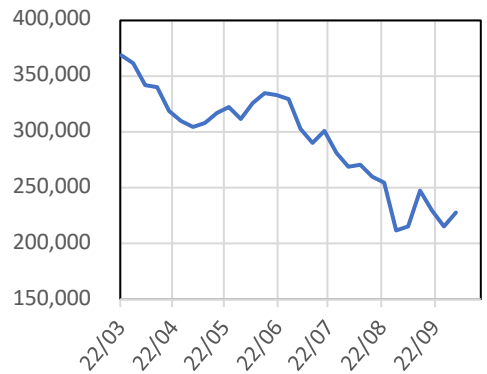
需要不安と供給不安が交錯する中、短期筋主導の乱高下が続き易い。最近の傾向としては、需要不安が重視されると80～85ドル水準が打診される一方、供給不安が重視されると90～95ドル水準が打診される。ボラティリティは極めて高いが、トレンドフォローの対応は困難な地合が続く、大きく上昇・下落した局面での逆張り対応が基本になるろう。

需要環境は厳しい状態が続く。世界的にインフレ抑制のための利上げが進んでいることに加えて、中国ではゼロコロナ政策の影響もあり、需要見通しのリスクは上方修正ではなく下方修正になる。中国で更に大規模なロックダウン（都市封鎖）の動きが報告される、経済指標の大幅な下振れといった動きがみられると、85ドルの節目を割り込むリスクを抱えている。

一方、欧州エネルギー市場の混乱状態は続き、原油相場も不安定な地合が続く。IEAも、中国のロックダウンの影響の一部は、天然ガスからの需要シフトによって相殺されるとの見通しを示している。ロシアは、引き続きノルドストリーム1経由のドイツ向け天然ガス供給を止めており、エネルギー全体の供給リスクが意識されると、改めて90ドル台に乗せるリスクを抱えている。

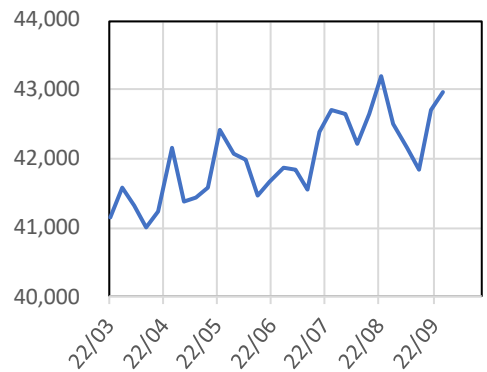
9月20～21日には米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。0.75%の追加利上げが予想されているが、更に米金融当局者のフェデラル・ファンド（FF）金利見通しも大きく引き上げられる可能性が高い。ドル高、株安が加速すると、ドル建て原油相場の上値は圧迫され易くなる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



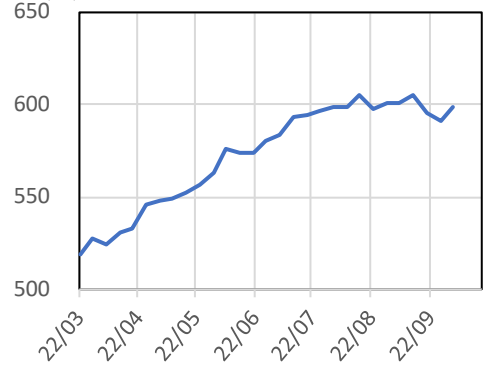
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

